

学術活動報告



表題：『第49回日本足の外科学会学術集会に参加してきました』

11月7日、8日の2日間、東京の虎ノ門ヒルズで開催された【第49回日本足の外科学会学術集会】で、リハビリテーション科の須貝が演題を発表してまいりました。

[大切なのは疑問を持ち続けること]
という学会のタイトルのもと、当院倉院長をはじめ、各地の足のエキスパートの先生方が熱い議論を交わしておりました。

須貝は『重度外反母趾における保存治療希望例の特徴について』調査をしたものを発表してまいりました。
足に関する最新の知見を学ぶことができ、有意義な時間となりました。

さっそく日々の臨床に生かすと共に、スタッフへの伝達を行い、リハ科みんなで切磋琢磨していきたいと思っています！

